



(特集号)

世帯と人口

(40.4.1日現在)

面積	30.55平方キロ
人口総数	53,423人
男	27,255人
女	26,168人
世帯数	11,700世帯

全世帯に配布
この広報紙は町内自治会を通じて市内の全世帯にもれなく配布されております。皆さんのお宅に届かないときは部落の区長または市庁舎までお申し出ください。



(写真・事務局の看板を掲げる漆畠市長)

特集 合併問題の現状

市民福祉の増進を優先に

二市一町合併促進協議会発足

経済開発と社会開発が並んで

私たちの富士市は、昭和二十九年三月三十一日当時の富士町を中心として田子浦村、岩松村の一町二村が合併してその名も「富士市」として新規立地いたしました。あれから満十一年もの才月が流れましたが、この十一年間の富士市の姿勢は、當時誰一人予測できなかつた程のものがあります。今度の二

町村合併とは 性格が違う

市一町の合併問題は、あの時の二町二村の合併とは、大いにその性格を異にしております。ましてや市と市の合併は、そう簡単に運ぶものではありません。富士市の当局や市議会が吉原市や鷲崎町に比較してこの問題に消極的であるやの声をきくこともありますが、それは決して無意味で消極的な合併は、國や、県のためによつて、富士市民はもとより岳南二市一町の地域住民が如何に幸せになるかを決して無意味で消極的な合併は、國や、県のためによつて、富士市民はもとより岳南二市一町の地域住民が如何に幸せになるかを

合併の必要性

それで何故、合併をしようとして、協議機関を設置して本格的に推進していく上にあります。別に二市町合併基本方針の全文がありますのでよくお目通しいただきたいと思いますが御案内のように、富士市の将来の生き方は、誰が考えます。でも「工業立市」よりもあります。この意味は、工場だけを考えるというだけでなく、例えば商業都市とか、観光都市といふようなものがあります。この意味は、工場だけと解釈していただきたいと思います。

大切なのは生

活環境の整備

それが、それが合併は單純化されてしまうのです。つまり、それが合併は單純化されてしまうのです。

大切なのは生

活環境の整備

△仙塩地区は

協議中

岳南二市一町、即ち、富士市、吉原市、鷲崎町の合併問題は、全市民ひとしく重大な関心を持つ市政上の最重要問題です。昭和三十四、五年頃から話題となつたこの合併問題も、三十八年九月十九日、第一回の広域都市行政研究連絡協議会が発足してから漸く本格的に取り上げられ、ちょうど一年八ヵ月目のこの四月十三日、こんどは「市の合併の特例に関する法律」に基づいた二市一町合併促進協議会が組織されて、本番となつてまいりました。

最近の二市一町の代表者による話し合いでは、明春四月一日を期して合併を実現し、新市の誕生を見ようとして申し合いましたが、これで合併は本決まりではありません。これから一年、全力をあげて眞に市民の福祉が増進されることを前提条件に各種の協議を行なうわけですから、合併の成否はこの一年間の動向にあるといつても過言ではありません。

そこで、合併問題の現状について詳細にお知らせいたすべく「広報ふじ」特集号をお手元におとどけいたします。

いく構想を持つならば、富士市は、工業都市として永年に発展して、まいらねばなりません。そしてそのためには、工業の立地条件を整備し、その受け入れ態勢を備えることは、市政の上での重要な柱であつてよい筈です。田子浦港には既に一万トン以上の外航船が出入りする東名道路、国道バイパス等の交通体形の整備、富士川工業用水、あるいは日野軽金の余水、日量三百五十万トントンを利用しようとする東駿河湾工業用水道等の水資源対策、また工業団地造成のための諸事業、都市改造や都市計画街路の築造、その他、鉄道、通信等々工業立地の条件を整備すべき仕事は余りにも多く、このため政府は、岳南地区を含む六市十五町村の東駿河湾地区を工業整備特別地区としてさらに発展せしめようといふ政策を打ち出し、関係市町村もこれに対応して永い将来を見越した対策を樹てつあります。

そこで、岳南の二市一町はこの際こそ、大同団結して地域全体の力を結集して一大工業都市を建設いたしてまいりうとするところに、合併の一つの目的が生れてきました。水資源一つをとらえて、また道路交通の面をとらえて、また港湾の地域全体の受益という面からみましてもこの際、二市一町が一つの自治体としてすべての行政機能を結集すべきであるというものが合併の必要性といつてよいかと思われます。

この合併は、大分市鷲崎市、大南町、大分市鷲崎市、大南町、大分市五町五村の合計十市町村の合併で、人口は原則的に旧市町村の合併で人口は計十九万七千人、財政規模は全部で約二十二億円です。

ここも大分と同じように合併後二年間は旧市町村の地域からの収入は原則的に旧市町村の地区財源とする方法をとつたので問題が多いようです。

この合併は、大分市鷲崎市、大南町、大分市五町五村の合計十市町村の合併で、人口は原則的に旧市町村の合併で人口は計十九万七千人、財政規模は全部で約二十二億円です。

北九州は百万都市に

市と市又は二つ以上の市と一つ以上の町村の合併を都市合併といつてます。今までに合併した都市を紹介してみましょう。

島町、多賀城町、七ヶ浜町、利府村の三市四町一村の大合併で人口約六十万人の大都市を建設しようとしています。こゝも新産業都市の指定都市です。

△大分、鷲崎区 △五月一日実施 の場合 の郡山地区

△北九州市は

△五市併合

門司、小倉、若松、八幡戸畠の北九州五市が三十八年二月十日、百万都市として合併誕生しました。

北九州五市合併の問題は、数多くの難問題を解決して世界に例のない、五市合併、百万都市の合併が成功したもので

さて、それでは合併は单

に工業の立地条件の整備の問題ばかりでしょうか。その問題よりもまして重要